



HOKKAIDO NIPPONHAM
FIGHTERS
CH.N.F.

Profile

安西 叶翔

あんざい かなと：平成16年11月13日生まれ、京都府京都市出身。地元の北白川ベアーズで野球を始め、中学時代は軟式野球の京都ベアーズに所属し、全国16強入りを経験。地元を離れ常葉大菊川高校に進学すると、1年秋から公式戦に登板し、秋季東海大会に出場。サイドスロー気味の独特なフォームが特徴で、直球の最速は151キロ。身長186cm。右投げ右打ち。

プロの世界でも菊川市で培った力を基盤として頑張っていきます

ドラフトの時は人生で一番緊張しましたが、一番うれしい瞬間でもありました。北海道日本ハムファイターズは、ダルビッシュ投手や大谷投手など超一流選手が在籍されていた球団という印象です。高校の尊敬する先輩、奈良間選手と同じユニフォームを着てプレーできるのは光栄なこと。いずれは二人でチームを引っ張っていき、日本一になりたいです。

これからの目標はファイターズの主力選手として優勝に貢献し、日本代表に選出され世界一になることです。1年目は限られたチャンスをものにして、1日でも早く一軍に昇格したいです。

高校3年間では精神力と物事に対する考え方を学びました。プロの世界でも菊川市で培った力を基盤として頑張っていきます。菊川市の皆さんにはいつも温かい応援をしていただき、野球をする原動力になっていました。3年間支えていただき感謝しています。菊川市は私の第二のふるさとで大好きな場所です。これからも温かいご声援をよろしくお願いします。



CH.N.F.

interview



常葉大学附属菊川高校 野球部
監督
石岡 諒哉

応援してくれる人の期待に応えるプレーをしてほしい

安西選手は、京都から覚悟を持って菊川市に来てくれました。なかなか実績が残せず、いい思い出が無かったかもしれません。最後の夏の大会も悔しい経験をしたのですが、その経験が必ずプロでも生きてきます。今まで通りの気持ちで、プロでもプレーをしてほしいです。

今回の指名は、本人が3年間努力して磨き上げた成果だと思います。安西選手は、高校3年の5月頃からグンと伸びてきて、「もしかして、プロ入りもあるかも」と思うようになりました。夏の大会では悔しい思いもしたのですが、大会の後毎日欠かさずに練習に来ていて、そういうところをスカウトの人に見てもらえたと思っています。安西選手はとにかく身体が大きく腕が長いのが特徴です。その体格を生かし、オーバーとサイドの間から出てくる球は簡単な球筋ではないので、打者は打ちづらい。彼の大きな強みだと思っています。菊川市の代表としてプロの世界に行くこととなります。応援してくれる大勢の人たちの期待に応えてほしいです。私としては、とにかくプロの世界で1年でも長くプレーしてほしいです。